

2025 年 11 月 12 日 発行

第21号



J R東労組(東日本旅客鉄道労働組合)
工 務 部 会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-1
代々木総合事務所 5 階
NTT 03-5315-0941 JR 058-4112
発行人 杉本博輝 発行 編集委員会

俺たちの声を聞け！！その③

33名回答(J R東労組組合員24名、未加入者9名)

【経営課題】「収益を上回る費用増のため本業の力を示す営業利益は20億円の減益となり今後も想定されるコスト増」「連結の通期業績予想を上方修正しましたが、費用増を上回る収益増を前提にしたもの」「コロナ前の水準に遠く及ばず、定期外収入の確保は経営課題」「運賃改定をせざる得ない状況にあり、多くのお客さまにご負担をお願いすることを重く受け止め、さらなる安全・サービスレベルの向上によってご期待にお応えしなければならない」といった経営課題があげられました。どのように感じますか？

- さらなる安全サービスレベルの向上の前に、まず維持すらできてない現状を理解してほしい。
- お客様のご期待に応えなければいけないのであれば、現場第一線で働いている社員の働きがいをもっと賃金として出すべきではないのか？現場社員が減ったり、業務が滞ることでさらなるサービスを今より良いものにできるのか？今いる働く社員のことをもっと考えてほしい。
- 物価高で費用増のため運賃を上げるのには納得はしますが、お客様も大切ですが従業員にも働き手が少なく負担がかかっているのを忘れていないのか
- 経営課題もあるかもしれないが直接的にお客様と関わりがあるのは現場第一線で働いている社員だ。お客様とのコミュニケーションが図られる我々社員が不足すれば、さらなる安全・サービスレベルの質の低下につながる。
- 運賃改定について特化してしまうが、社員に対してもっと丁寧な説明を行うべき。改定の掲示が駅構内で始まって問い合わせや苦情を受けるのは現場の社員である。
- 相変わらず、過去のマイナス要素を並べてるだけ。まだコロナ禍を出すクセにこれからの見通しをマイナス。これだけ回復しているのに訳が分からない回答。誰が苦労してやっているか分かっていない。合わせて、ホームでの事故が最近続いている。列車ドアに白杖、靴挟んで移動なんて、お客さまの死亡事故も出かねない。分かっているのだろうか。
- コロナ前に戻らないと以前言っていたので水準比較がナンセンス。増収増益が見込まれる営業利益プラス180億の上方修正は確信的な修正であり、そのうち減益20億分の痛みはどの程度なのか。運賃値上げは物価高やコスト増、従業員への配分が含まれてるからお客さまを盾に理由にするのはナンセンス。現場がコツコツ実践してるコストダウンでの数億円の社員の努力分は持ち出し可能ではないか。
- 何故コロナ前の水準に拘るのか。むしろ変革だと言っていたのは会社なのではないか。現場では要員が少ない中、コスト削減や各種取組等を行なっている。お客さまの期待に応えたいとは思っているが、まずは従業員の期待に会社が応えないことには説得力に欠ける。
- コロナ以前に戻らないと言っていたにも関わらず、団交の時には平気で言うのも気に食わない。経営課題は経営責任であるので、それを我々にも転嫁するのはおかしい。
- 経営課題としては正しいが、それと期末手当を抑えるのは話が違う。
- 経営の話としては理解出来る。特に運賃の改定については個人的にも必須と感じている。しかし、費用の増大による利益減は経営者側の判断と投資の結果であり、現場社員への深い関係性はない。現場社員は施策に応えられるように奮闘しているので、これ以上に負荷を強いるならば、社員にさらなる投資を行うべき。特に社員数は足りてないと感じているので、首が回らない状況になる前に、早めに人財確保に動いて欲しい。
- 出さない理由を並べているようにしか思えない。運賃改定やコスト管理は経営の問題でなぜ、経営は責任を取らずに、働く我々に負担をさせるのか理解ができない。
- 出せない理由を述べているだけ。なぜ株主配当や役員報酬は上がっているのに会社幹部は責任を取らず、社員の責任にされている。経営陣の皆様がしっかり対応してほしい。私たちに責任を押し付けしないでほしい。
- 本当にお客様に申し訳ないと思うならまずは役員報酬と役員減らせよ。
- 経営のサジ加減での減益は経営(役員)の責任ではないか。
- 高輪や大井町の開発など方向性や舵取など一方的に進めている。経営陣の総意なのだろうか、不安を感じる。
- 運賃の値上げをお願いしているのに、お客さまは期待するんですか？
- 運賃改定・設備投資等は経営判断、それを賃金抑制に持ち込まれる事態甚だしい。社員を騙す会社の経営姿勢に怒りを感じる。
- 会社幹部が判断した経営方針によって、社員への還元を抑えるのは怒りしかない。社員の努力を当然だとする傲慢な経営姿勢を改めなければこの会社に未来はない。
- そもそも私たちの業務が直結しているのは営業収益である。利益は会社の経営によって変動する。自分たちに押し付けられないでほしい。